



北海道立正学園
旭川実業高等学校
広報部
TEL(0166)51-1246
旭川実業高校HP

バドミントン部 全国大会出場!

1月13日(月)～16日(木)まで行われた「第52回北海道高等学校新人バドミントン大会兼全国高等学校選抜バドミントン大会(北海道予選会)」で女子バドミントン部が**団体戦、シングルス、ダブルス**で優勝しました。詳しい結果は以下の通りです。

- 女子団体戦 優勝
- 優勝：高見優里(普2・春光台中)
- 女子ダブルス 優勝
- 優勝：犬嶋美南海(普2・東明中)
- 百武沙菜(普2・東明中)

この結果により、3月25日(水)～29日(日)まで鹿児島県で行われる「第48回全国高等学校選抜バドミントン大会」への出場を決めました。選手たちは応援してくださる皆さまへの感謝を胸に、全国大会での活躍を誓いました。

主将の百武沙菜さん「周りからの期待の声膨らむ中、プレッ



シャーに負けずに皆で勝てたことはとても大きかったと思います。全国で勝つことは難しいと思いますが、残りの2か月で少しでも課題を無くして、自分たちのプレーをしたいと思います。団体戦4強入り、個人戦8強入りを目標に頑張ります。そして、3年生になったらすべての大会が最後の大会になります。一試合一試合大事に臨み、結果をもって先生方や保護者の皆さんへ恩返ししたいと思います。」



1月17日(金)～19日(日)の3日間、札幌ドームで行われた「札幌モーターショー2020」に自動車科が出場しました。モーターショーに向けた車両制作は4月上旬から始まり、9か月かかって完成しました。この車両がハンドメイドエコカーコンテストで銀賞を受賞しました。

副リーダーの藤井稜生さん(自動車科)は「会場では小さな子どもがたくさん来てくれて、とてもにぎやかでした。自分たちが作った『レクシオン』を観て、『すごい!これお兄さんたちが作ったの?』と聞いてくる方がたくさんいて嬉しかったです。プレゼンテーションの時は特にお客さんが増えて緊張しましたが、『レクシオン』の良さをしっかりと伝えることができました。自分たちの活動に誇りをのぞかせました。」

札幌モーターショー 銀賞受賞

普通科3年生 合格祈願会

1月4日(土)、普通科講堂にて合格祈願会が行われました。参加したのは普通科3年生難関選抜コース、特別進学コースの生徒たちです。3年間、希望の進路実現を目指して、週6日の登校や7時間授業、20時までの講習・自習、夏休み・冬休みの講習などで学力を高めてきた生徒たちは、お互いを鼓舞しながら、全員でだるまに目入れをし、志望校合格を祈願しました。

スペシャリスト大賞受賞 機械システム科3年 北崎さん

1月23日(木)～25日(土)、釧路で行われた「第38回北海道高等学校工業クラブ大会」で、北崎羽さん(機3・東明中)が「クレーンゲーム」を出品し、「スペシャリスト大賞」を受賞しました。北崎さんは「今回のクレーンゲームは、ほとんど1から作ったので、仕組みやデザインを考えるのに苦労しました。トラブルが立て続けに起こった時期があつて、とても大変でしたが、なんとか乗り切ることができたときは、大きな達成感がありました。」と制作中の苦労や思い出を振り返りました。受賞については「自分がこのような賞をいただけるのは初めてなのでとてもうれしいです。」と笑顔を浮かべました。北崎さんは就職を控えており、「今回のクレーンゲームの制作を通して、たくさんの方の学びました。今後色々なことにこの経験を生かしていきたいと思っています。」と卒業後の抱負を話してくれました。



集まれキッズin図書館 冬休み自由研究講座

冬休み期間、図書館にて「冬休み自由研究講座」が実施されました。12月24日(火)は「浮沈子づくり」(化学サークル)、25日(水)～26日(木)は「缶バッジづくり」(商業科)、1月7日(火)は「ミサンガづくり」(美術部)、8日(水)は「プログラミング体験」(機械システム科)がそれぞれ行われました。参加した小学生たちは、夢中になって制作や体験に取り組み、完成品を持ち帰りました。

2月の目標

進級に向けて
自覚と目標を
持つて生活しよう

1月28日(火)の5、6校時に就職内定者向け研修会が開かれました。電話対応や名刺交換の仕方など、就職後すぐに役立つ実践練習が行われました。生徒たちは就職目前ということもあり、集中して研修に取り組みました。

清野初美さん(商3・北星中)は「電話対応と名刺交換の実践は、これから絶対に必要なことなのでとても勉強になりました。講師の方のお話を聞いて、これからは自分のことを否定しすぎず、前向きに考えていこうと思います。」と研修会を振り返りました。また、「就職は全てが1からのスタートになります。不安な気持ちのほうがいいですが、自分のやるべき仕事をしっかりとこなし、信頼される社員になれるよう頑張りたいです。正直まだ卒業という実感は全然ないです。来年も再来年も高校生でいられますが、気分ですが、気持ちを切り替えて、立派な社会人になれるよう努力していきたいです。」と今後の自分を思い描いていました。

就職内定者向け 研修会